# 施工事例の頼み方シート

**AIで下書き → 現場の目で直す**（ホームページ・チラシ用）

げんば事務ラボ｜ゆいワークス　2026年10月17日版

## はじめに：3つの約束

1. **AIに入れないもの**：お客様の名前・住所・電話番号／工事の写真（外観や表札、撮った場所の記録が入っていることがあります）／家の場所が分かる説明／図面／契約書・見積書

2. **先に、学習させない設定を確かめる**：使うAIの設定を確かめておきます（無料の「AIに学習させない設定の早見表」をどうぞ）

3. **AIの文は下書きです**：載せる前に、必ず人が読んで直します

## ステップ1　工事のメモを書く

数や日数は、分かる範囲で書いておくと、AIが数を作ってしまうのを防げます。

ここからコピー

```
工事のメモ
・工事の種類：
・困っていたこと：
・やったこと（数も）：
・工期：
・お客様の声（載せてよいと、ご本人の許可をもらった言葉だけ）：
```

**記入例（架空の工事）**

ここからコピー

```
・工事の種類：お風呂のリフォーム（タイルのお風呂 → ユニットバス）
・困っていたこと：冬に寒い。タイルの目地のカビが、そうじで落ちない。入口の段差が高く、またぐのが大変
・やったこと（数も）：古いお風呂をこわす／水道とお湯の配管を新しく／床下の傷んだ木を補修／ユニットバスの取りつけ／手すり1か所／入口の段差を小さく
・工期：6日（お風呂が使えなかったのは5日間）
・お客様の声：冬の朝でも、お風呂に入るのがつらくなくなりました
```

## ステップ2　この頼み方をコピーして、最後にメモを貼る

（ChatGPT・Gemini・Copilot・Claude など、ふだん使っているチャット型のAIに貼って使えます）

ここからコピー

```
あなたは、建設・リフォーム会社のホームページの文章を手伝う係です。
下の【工事のメモ】だけを使って、ホームページやチラシに載せる「施工事例」の文章の下書きを書いてください。

【守ってほしいこと】
1. メモに書いていないことは書かないでください。工事の内容、数、日数、保証、会社のサービス、お客様の気持ちも、メモにないものは足さないでください。
2. 「絶対」「必ず」「一番」「最高」「完ぺき」「新築同様」「どこよりも」など、言い切る言葉や大げさな言葉は使わないでください。
3. 保証、長持ちする年数、値段、割引は書かないでください（人が契約書や見積書を見て書き足します）。
4. メモの「お客様の声」は、一字も変えずに、かぎかっこに入れてそのまま使ってください。メモになければ、お客様の声の見出しは作らないでください。
5. お客様の名前、住所、地名、家の場所が分かることは書かないでください。
6. 見出しは「題名」「お困りごと」「工事の内容」「工期」「お客様の声」の順にしてください。全体で400字以内、やさしい言葉で書いてください。短くなっても、メモにないことで字数をうめないでください。
7. メモだけでは分からないことがあれば、文章のあとに「確かめてほしいこと」として箇条書きで書いてください。

【工事のメモ】
（ここに工事のメモを貼る）
```

## ステップ3　下書きを、現場の目で直す（チェック6つ）

メモと写真を横に置いて、1行ずつ見比べます。

- [ ] **① 大げさな言い方はないか**
  例：まるで新築／最高級／生まれ変わりました／最新の／わずか○日
  → やった工事の事実だけにする（例：「タイルのお風呂を、ユニットバスに取りかえました」）

- [ ] **② メモにないことはないか**
  例：24時間いつでも駆けつけます／無料点検／手続きの代行
  → メモにないことは消す（本当にしているサービスなら、社内で確かめてから人が書き足す）

- [ ] **③ 保証・年数・「絶対」「必ず」「一番」はないか**
  例：10年保証付き／もう絶対にカビは生えません／地域で一番の技術力
  → 保証は、契約書に書いたとおりに人が書く（書いていなければ載せない）。「一番」「No.1」は、きちんとした根拠を示せないなら書かない

- [ ] **④ 写真と合っているか**
  数・色・場所・残っている物（例：写真の手すりは1本なのに「2か所」、段差が少し残っているのに「段差をなくし」）
  → 写真とメモに合わせる

- [ ] **⑤ お客様の気持ちを想像で書いていないか**
  例：「毎日の入浴に不安を感じていらっしゃいました」
  → お客様から聞いた言葉、メモの言葉にもどす

- [ ] **⑥ お客様の声が一字も変わっていないか・載せる許可をもらっているか**
  → AIが書き足した言葉は消す。もらった言葉のまま

## 写真を載せる前に

- 表札、車のナンバー、となりの家、窓の外の景色、お客様の持ち物（郵便物・家族の写真など）が写っていないか確かめます
- スマホで撮った写真には、撮った場所の記録（位置情報）が残っていることがあります。載せる前に、消し方をホームページを作った人に聞くか、スマホの設定で確かめてください
- どの写真と言葉を載せるかをお客様にお見せして、OKをもらってから載せます（メールなど、あとで見返せる形がおすすめです）

## 広告の決まりについて（ひとこと）

- 実際よりずっとよく見せる書き方は、広告の決まりにふれることがあります。うっかり書いてしまった場合も同じです
- 迷ったら、書かない。事実だけを書きます
- くわしくは、消費者庁のホームページ「優良誤認とは」や、相談の窓口で確かめてください（このシートは、法律の助言ではありません）

## 自分でやる時間がない方へ

施工事例の文章や写真の整理を、まとめてお手伝いします。

ご相談は、ゆいワークスのお問い合わせフォームから：https://yuiworks-contact.marustudy-form.workers.dev/

げんば事務ラボ｜ゆいワークス　※記入例の工事・お客様の声は、説明のために作った架空のものです